

年 月 日作成
年 月 日修正

学籍番号		フリガナ 学生氏名	
専攻・分野名		入学 年・月	年 月
課程	博士後期	学年	年
研究題目			
研究指導教員名			

○研究計画（指導教員と相談のうえ学生が記入）

学生は研究指導教員と相談のうえ「研究計画」として概ね、次の1～4の項目について記載する：

- 1.研究計画の立案と実施準備（1年次4月～7月）：研究課題の背景、研究内容等に関する簡単な説明の記入。
- 2.研究の遂行（1年次7月～1年次3月）：研究実施や必要となる知識・技能の修得などについて記入。
指導教員と相談しながら、計画を適宜見直す。
研究の遂行（2年次4月～2年次3月）：研究計画に従って研究を遂行する。
- 3.博士論文の作成（3年次4月～12月）：研究指導教員の助言・指導のもと博士論文を作成する旨を記入。
- 4.博士論文の提出（3年次12月～1月）：指定された期日までに博士論文を提出し、予備審査会および公開の発表会で論文研究に関する発表を行う旨を記述。
(ただし上記の年次・月は春入学の場合の目安であるため、秋入学の場合は月を半年ずらす。)

1～4の項目には、各時期において、例えば次のよう知識・技能の修得を計画している旨を記しても良い。

- ・研究の内容、意義の理解
- ・専門書や論文の読解を通じた研究分野に関する専門知識の修得
- ・先行研究の整理、仮説の設定等
- ・文献読解力、文献検索方法等の修得
- ・コンピュータに関する知識の修得
- ・英文による研究報告書・論文の作成技術
- ・ディスカッション能力の向上
- ・国内外の学会等における発表・プレゼンテーション能力の向上
- ・学位論文作成において必要な文書構成、図表作成、文献引用等の事項の理解。

○研究指導方法（指導教員が記入）

例えば、「本研究計画は、当該学生と綿密な検討のうえ立案されたものである。1年次においては、この研究指導計画を予め学生に明示した上で、研究指導を行い、必要に応じて、研究指導計画を適宜見直す。2～3年次においては、毎年度、研究指導計画を明示した上で、博士論文研究が順調に進むよう学生に適宜助言を与え、研究指導を行う。」等の旨を記入する。

(研究指導教員は、研究期間内に博士論文が完成しなかった場合など、当初の研究指導計画書から大きな変更があった場合、研究指導報告書を提出する。)